

長久手市
地域福祉に関する市民意識調査
調査結果中間取りまとめ
(第 3 回地域福祉計画・地域福祉活動計画
策定委員会報告用)

平成 3 0 年 5 月

長 久 手 市

長久手市社会福祉協議会

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	
2	調査対象	
3	調査期間	
4	調査方法	
5	回収状況	
6	調査結果の表示方法	
II	調査結果	2～18
1	回答者属性.....	2～4
2	地域福祉.....	5～16
3	自殺対策.....	17～18

< I 調査の概要 >

1 調査の目的

本調査は「長久手市地域福祉計画」、「長久手市地域福祉活動計画」及び「地域自殺対策計画」の策定にあたり、市民に意見を伺い、策定の基礎資料とすることを目的として、実施したものです。

2 調査対象

長久手市在住の15歳以上を無作為抽出

3 調査期間

平成30年3月30日から平成30年4月20日まで

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
5,000通	2,175通	43.5%

6 調査結果の表示方法

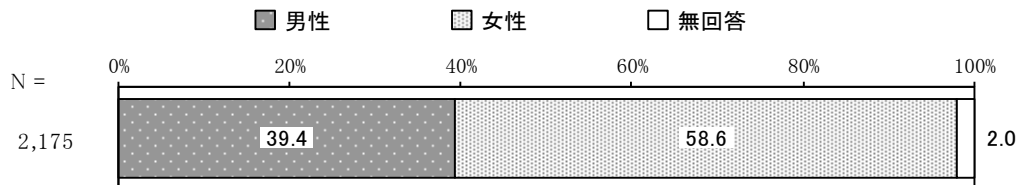
- ・回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

< II 調査結果 >

【 1 回答者属性 】

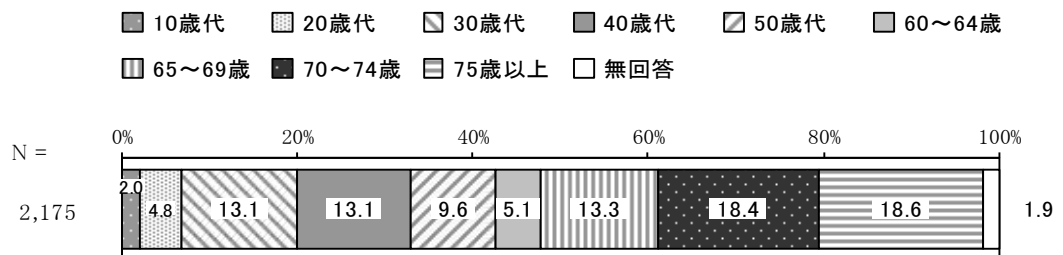
問 29 あなたの性別はどちらですか。【○は1つだけ】

「男性」の割合が39.4%、「女性」の割合が58.6%となっています。



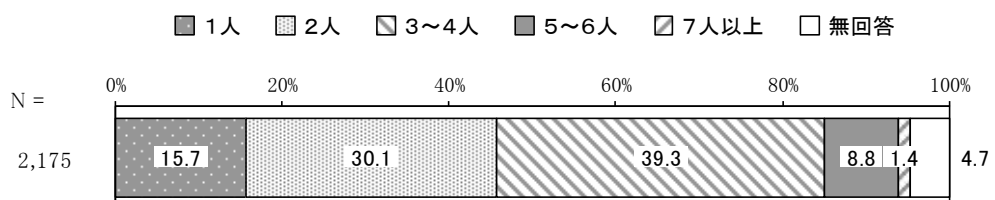
問 30 あなたの年齢はおいくつですか。【○は1つだけ】

「75歳以上」の割合が18.6%と最も高く、次いで「70～74歳」の割合が18.4%、「65～69歳」の割合が13.3%となっています。



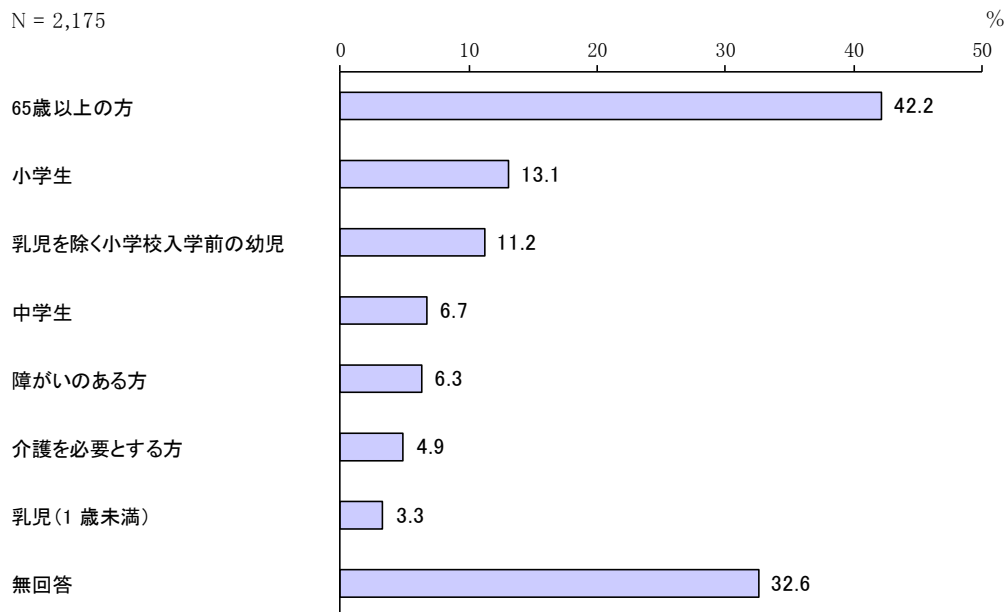
問 31 現在、あなたを含め同居している家族は何名ですか。

「3～4人」の割合が39.3%と最も高く、次いで「2人」の割合が30.1%、「1人」の割合が15.7%となっています。



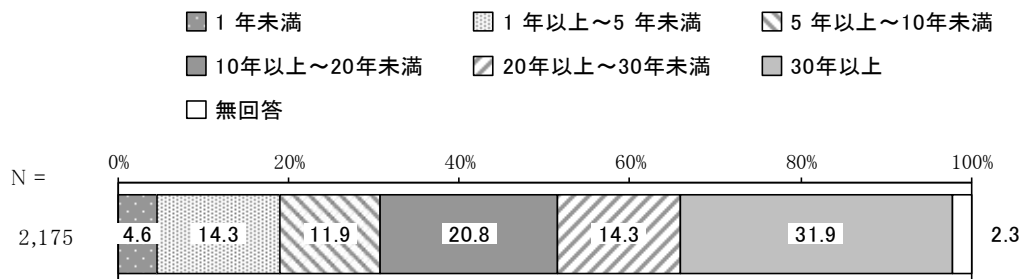
問 32 現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいらっしゃいますか。【〇はあてはまるものすべて】

「65歳以上の方」の割合が42.2%と最も高く、次いで「小学生」の割合が13.1%、「乳児を除く小学校入学前の幼児」の割合が11.2%となっています。



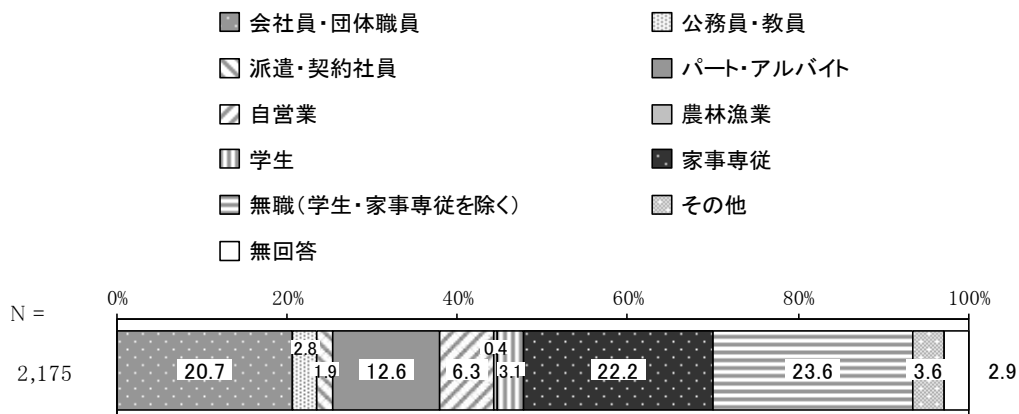
問 33 現在の住居に何年間お住まいですか。【〇は1つだけ】

「30年以上」の割合が31.9%と最も高く、次いで「10年以上～20年未満」の割合が20.8%、「1年以上～5年未満」、「20年以上～30年未満」の割合が14.3%となっています。



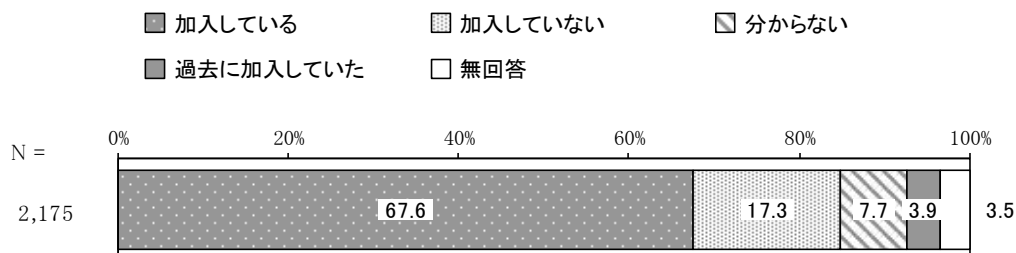
問 34 あなたの職業を教えてください。【〇は1 つだけ】

「無職（学生・家事専従を除く）」の割合が 23.6%と最も高く、次いで「家事専従」の割合が 22.2%、「会社員・団体職員」の割合が 20.7%となっています。



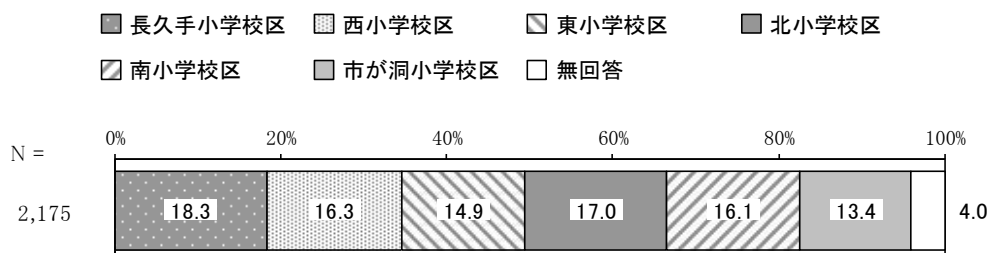
問 35 あなたは、自治会に加入していますか。【〇は1 つだけ】

「加入している」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「加入していない」の割合が 17.3%となっています。



問 36 あなたが現在お住まいの小学校区はどこですか。【〇は1 つだけ】

「長久手小学校区」の割合が 18.3%と最も高く、次いで「北小学校区」の割合が 17.0%、「西小学校区」の割合が 16.3%となっています。

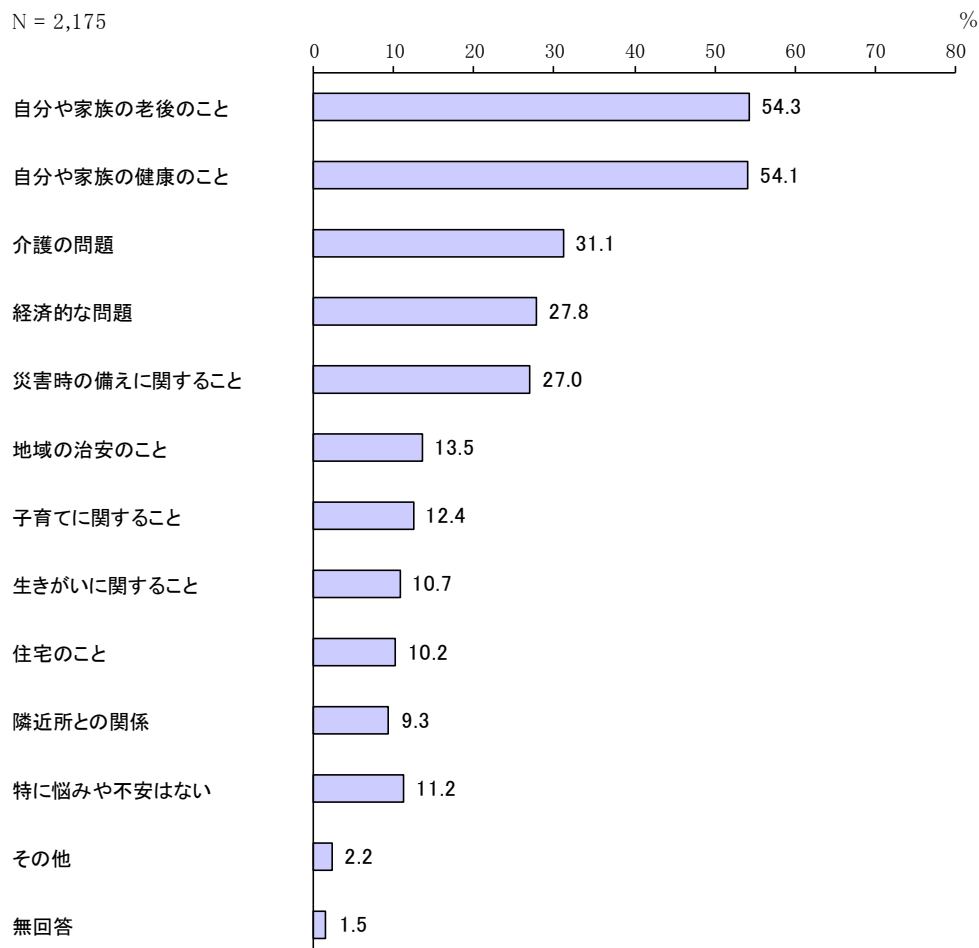


【 2 地域福祉 】

問1 あなたは現在、日常生活において、主にどのようなことに不安を感じていますか。

【〇はあてはまるものすべて】

「自分や家族の老後のこと」の割合が54.3%と最も高く、次いで「自分や家族の健康のこと」の割合が54.1%、「介護の問題」の割合が31.1%となっています。

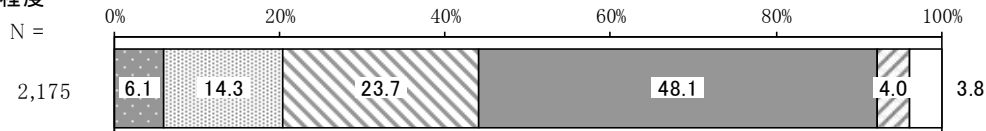


問2 あなたは、日ごろ近所の人たちとどのような付き合いをしていますか。

【〇は1 つだけ】

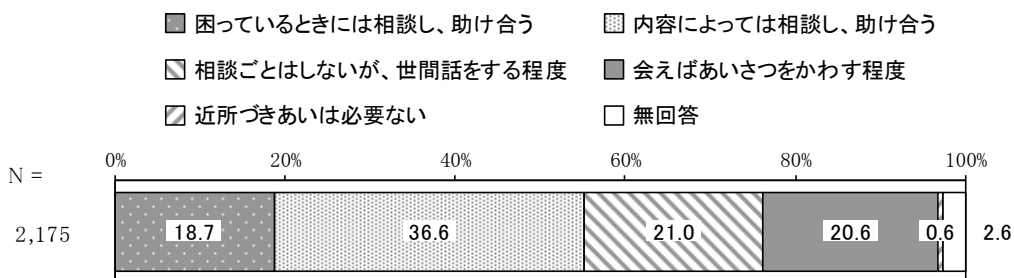
「会えばあいさつをかわす程度」の割合が48.1%と最も高く、次いで「相談ごとはないが、世間話をする程度」の割合が23.7%、「内容によっては相談し、助け合っている」の割合が14.3%となっています。

- 困っているときには相談し、助け合っている
- ▨ 内容によっては相談し、助け合っている
- ▧ 相談ごとはないが、世間話をする程度
- 会えばあいさつをかわす程度
- ▨ 近所づきあいはしていない
- 無回答



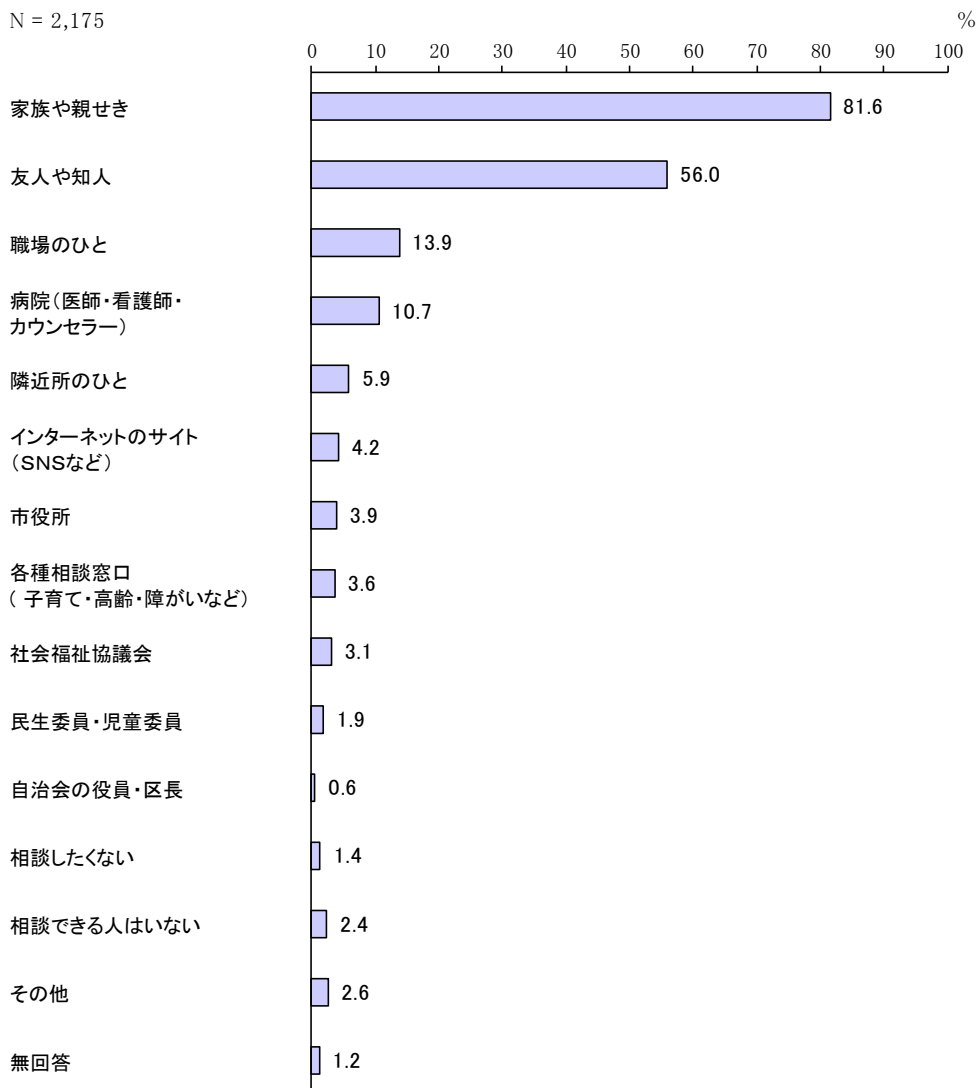
問3 あなたは今後、近所の人たちとどのような付き合い方を望んでいますか。
【〇は1つだけ】

「内容によっては相談し、助け合う」の割合が36.6%と最も高く、次いで「相談ごとはしないが、世間話をする程度」の割合が21.0%、「会えばあいさつをかわす程度」の割合が20.6%となっています。



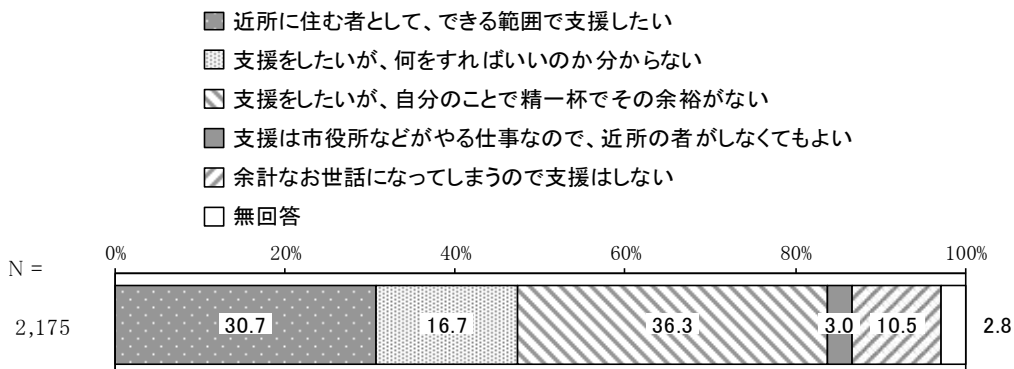
問4 あなたは、悩みごとを主に誰（どこ）に相談していますか。
【〇はあてはまるものすべて】

「家族や親せき」の割合が81.6%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が56.0%、「職場のひと」の割合が13.9%となっています。



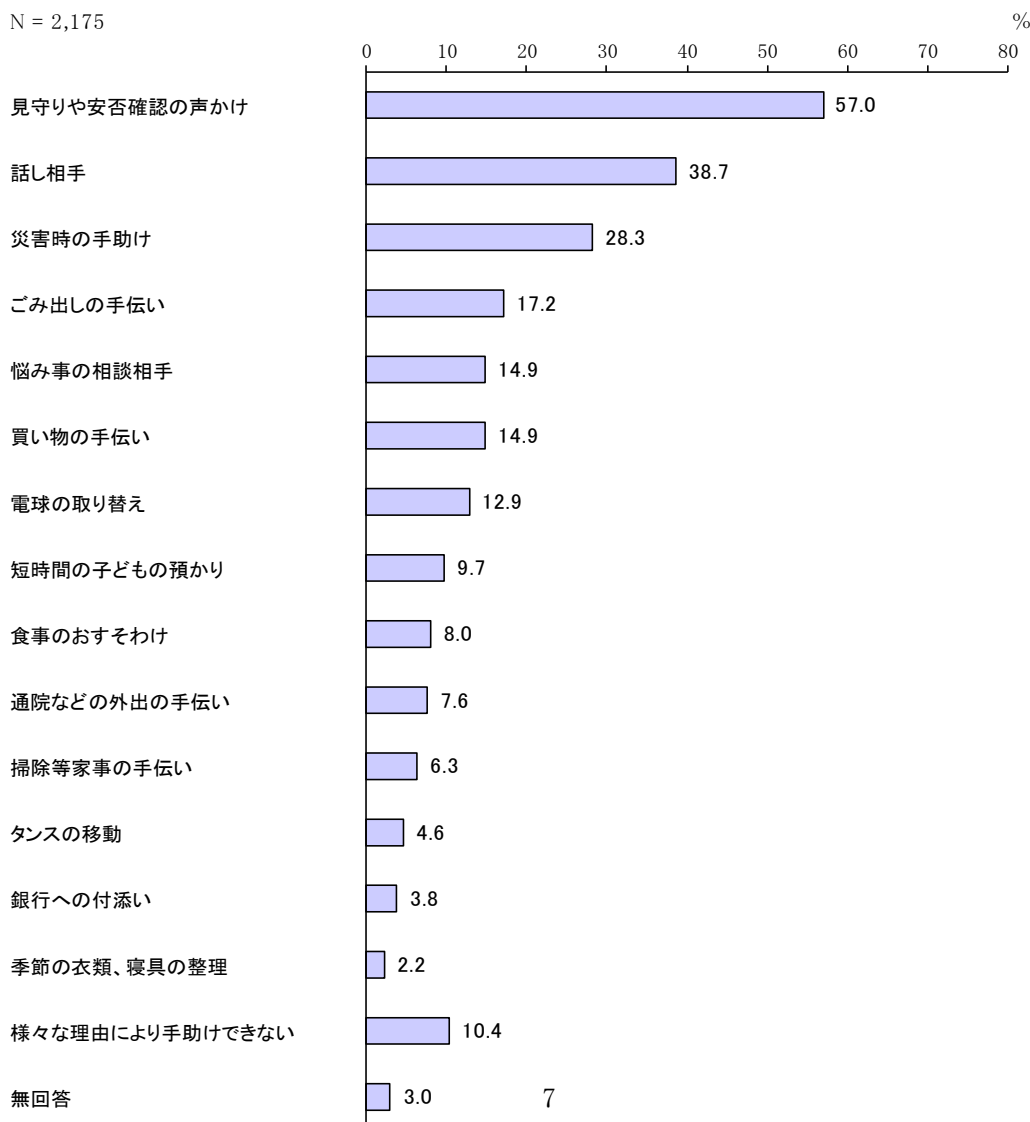
問5 あなたの近所に住んでおり、何らかの支援を必要としている方（一人暮らしの高齢者、介護をしている家族、子育て中の家族等）に対しての支援（日常生活上の手助け・お手伝い）について、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。【〇は1つだけ】

「支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」の割合が36.3%と最も高く、次いで「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」の割合が30.7%、「支援をしたいが、何をすればいいのか分からない」の割合が16.7%となっています。



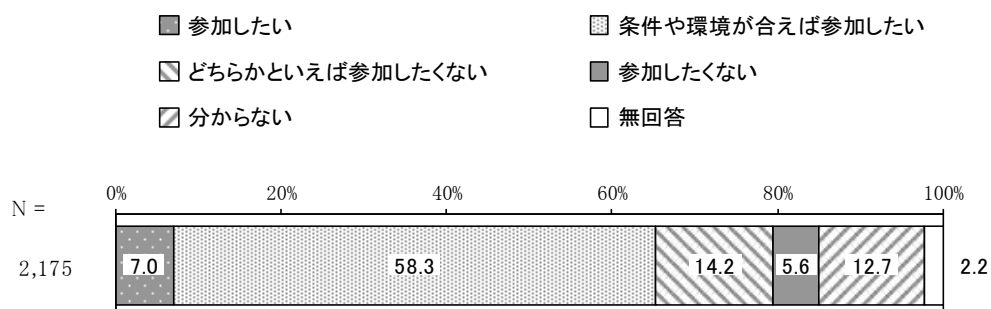
問6 あなたの隣近所に、介護や子育て等で困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますか。【〇はあてはまるものすべて】

「見守りや安否確認の声かけ」の割合が57.0%と最も高く、次いで「話し相手」の割合が38.7%、「災害時の手助け」の割合が28.3%となっています。



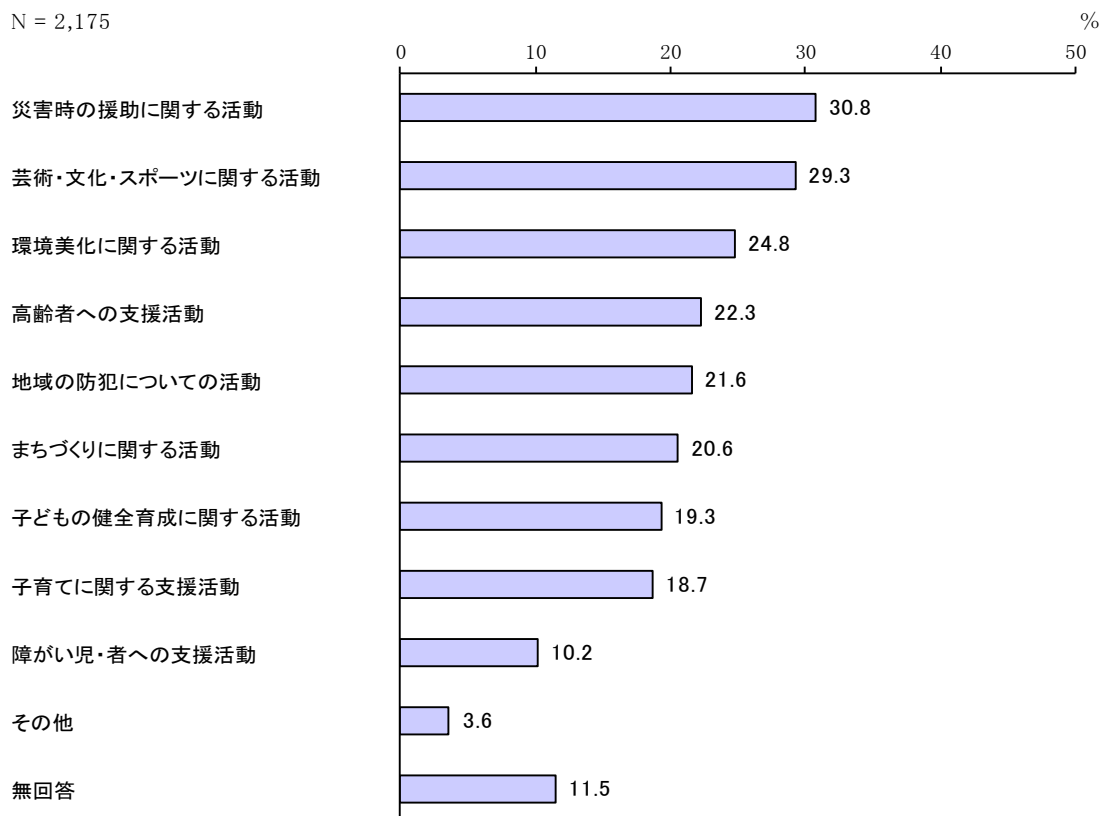
問7 あなたは、地域で行われている活動に参加したいと思いますか。(現在参加している方は今後の意向としてお答えください。【〇は1つだけ】

「条件や環境が合えば参加したい」の割合が58.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば参加したくない」の割合が14.2%、「分からない」の割合が12.7%となっています。



問8 あなたが参加してもよいと思う活動について教えてください。【〇はあてはまるものすべて】

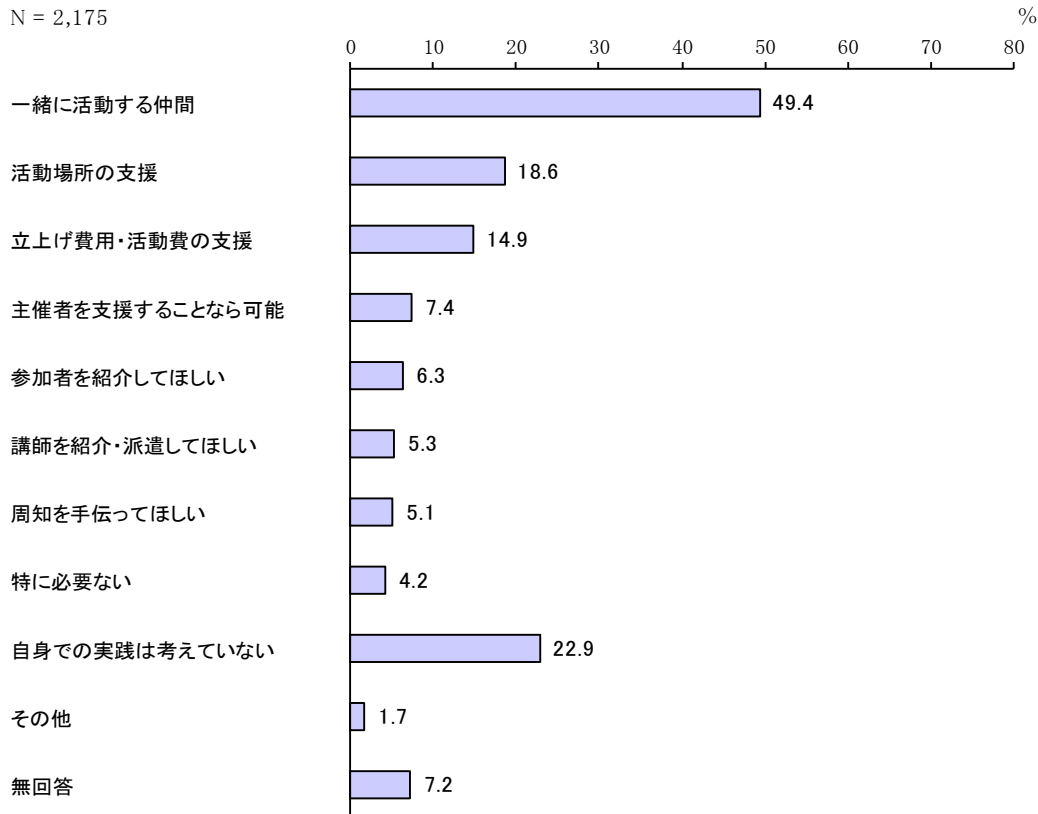
「災害時の援助に関する活動」の割合が30.8%と最も高く、次いで「芸術・文化・スポーツに関する活動」の割合が29.3%、「環境美化に関する活動」の割合が24.8%となっています。



問9 自分自身が地域で何か活動を始めるときに、どのような支援があれば活動しやすいですか。【〇はあてはまるものすべて】

「一緒に活動する仲間」の割合が49.4%と最も高く、次いで「自身での実践は考えていない」の割合が22.9%、「活動場所の支援」の割合が18.6%となっています。

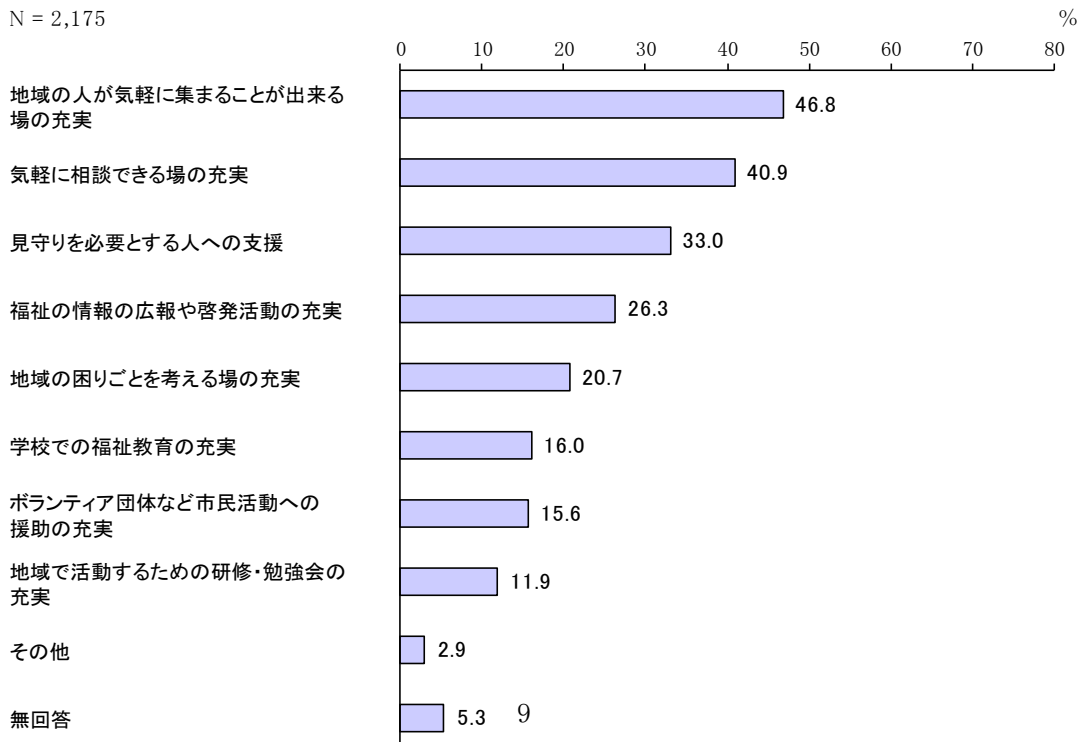
N = 2,175



問10 あなたは、地域で安心して暮らしていくために、どのような地域のあり方が大切だと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】

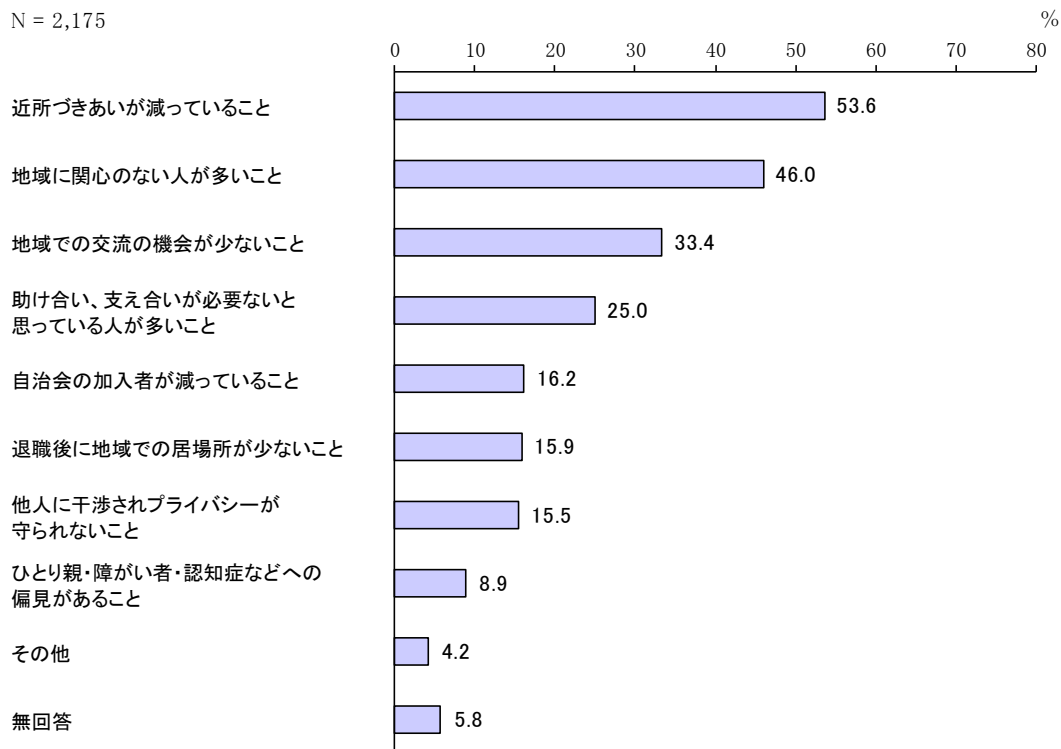
「地域の人が気軽に集まることが出来る場の充実」の割合が46.8%と最も高く、次いで「気軽に相談できる場の充実」の割合が40.9%、「見守りを必要とする人への支援」の割合が33.0%となっています。

N = 2,175



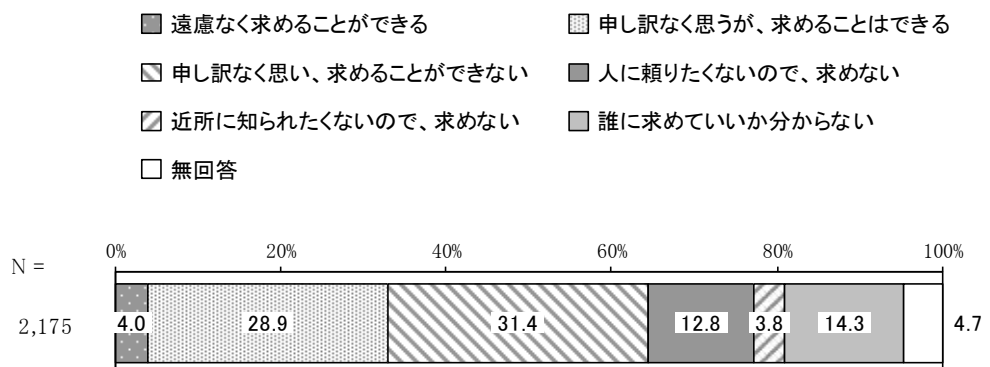
問 11 あなたは、地域の人々がお互いに力を合わせて、住みよい地域を実現していくうえで課題となることはどのようなことだと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】

「近所づきあいが減っていること」の割合が53.6%と最も高く、次いで「地域に関心のない人が多いこと」の割合が46.0%、「地域での交流の機会が少ないこと」の割合が33.4%となっています。



問 12 あなたは、高齢や病気、事故などで、手助けが必要なおとき、近所の人たちに助けを求めることができますか。【〇は1つだけ】

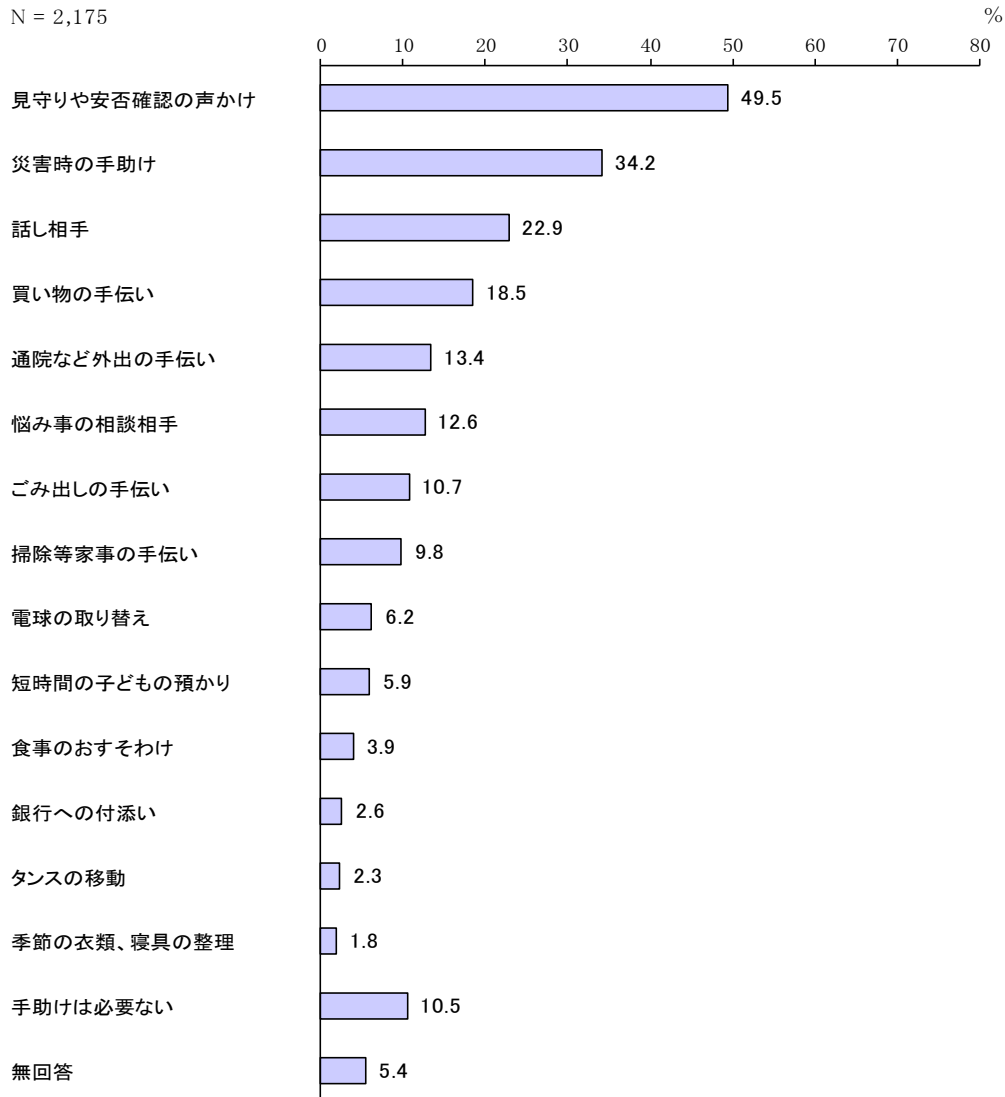
「申し訳なく思い、求めることができない」の割合が31.4%と最も高く、次いで「申し訳なく思うが、求めることはできる」の割合が28.9%、「誰に求めていいか分からない」の割合が14.3%となっています。



問 13 あなたが、高齢や病気、事故などで、手助けが必要なとき、近所の人たちにどのようなことをしてほしいですか。【〇はあてはまるものすべて】

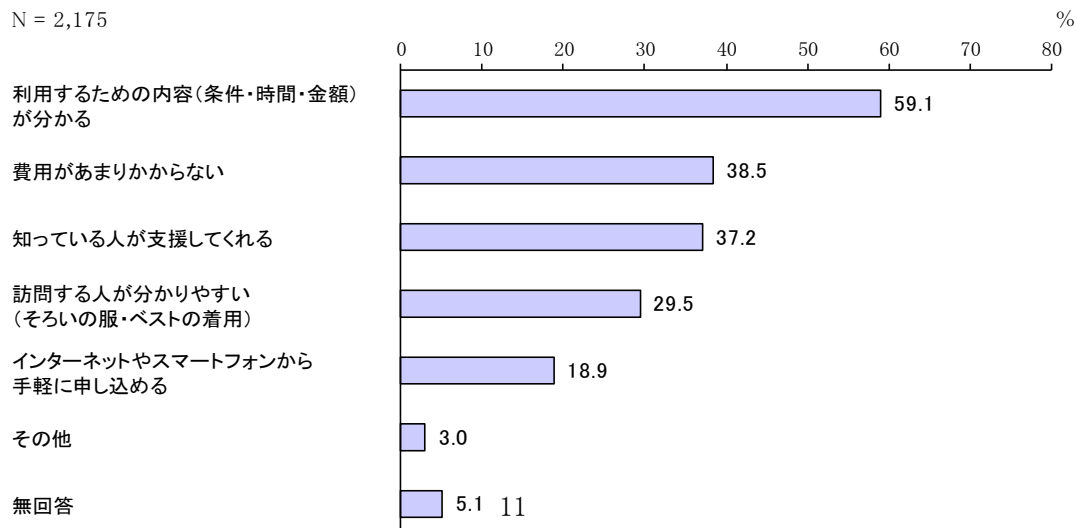
「見守りや安否確認の声かけ」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「災害時の手助け」の割合が 34.2%、「話し相手」の割合が 22.9%となっています。

N = 2,175



問 14 あなたが、近所の人たちに手助けしてもらおうとき、どのような内容だと受け入れやすいですか。【〇はあてはまるものすべて】

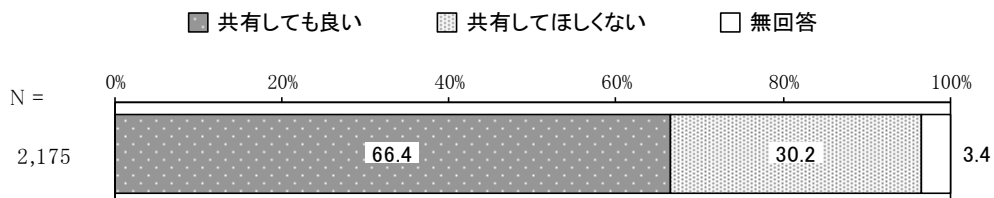
「利用するための内容（条件・時間・金額）が分かる」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「費用があまりかからない」の割合が 38.5%、「知っている人が支援してくれる」の割合が 37.2%となっています。 N = 2,175



問 15 あなたは、自身の困りごとや福祉のサービス等の支援のためにあなたの個人情報を共有することについて、どのように思いますか。また、共有しても良いと思った場合、どの範囲なら良いと思いますか。【〇は1つだけ】

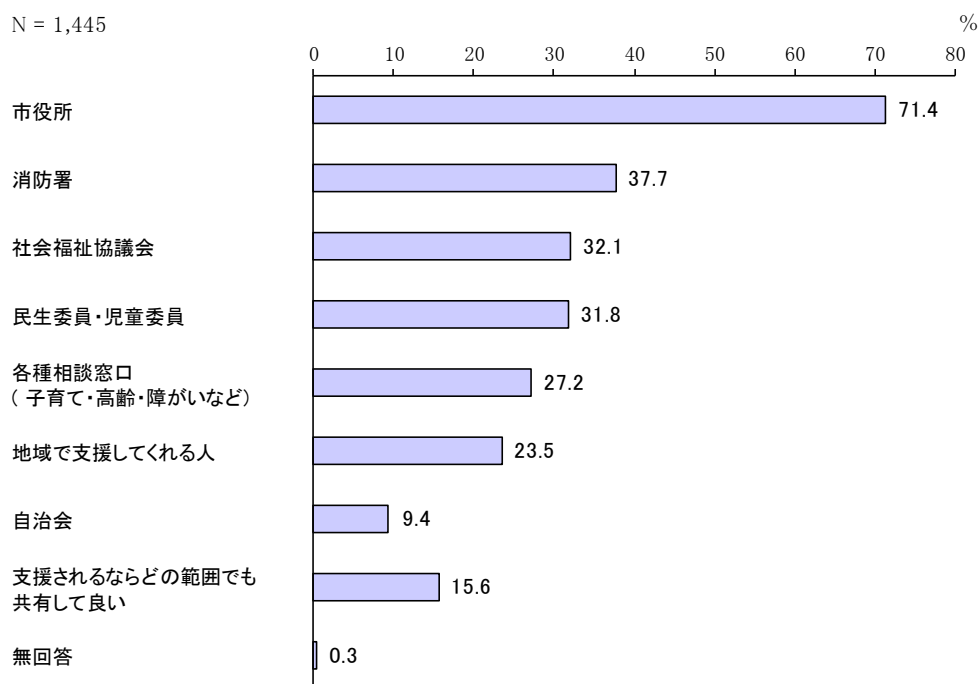
【情報共有について】

「共有しても良い」の割合が66.4%、「共有してほしくない」の割合が30.2%となっています。



【共有してもよい範囲】

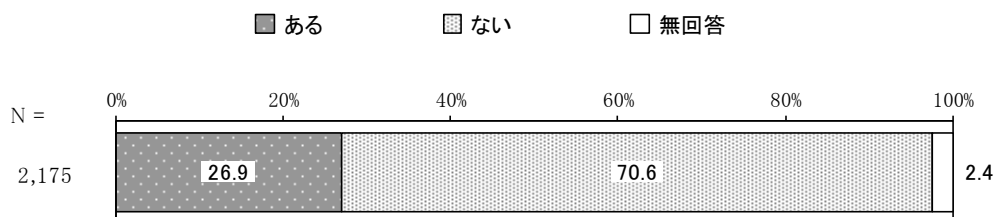
「市役所」の割合が71.4%と最も高く、次いで「消防署」の割合が37.7%、「社会福祉協議会」の割合が32.1%となっています。



問 16 あなたは、日常生活での移動に不便を感じたことはありますか。また、どのような支援が必要と感じましたか。

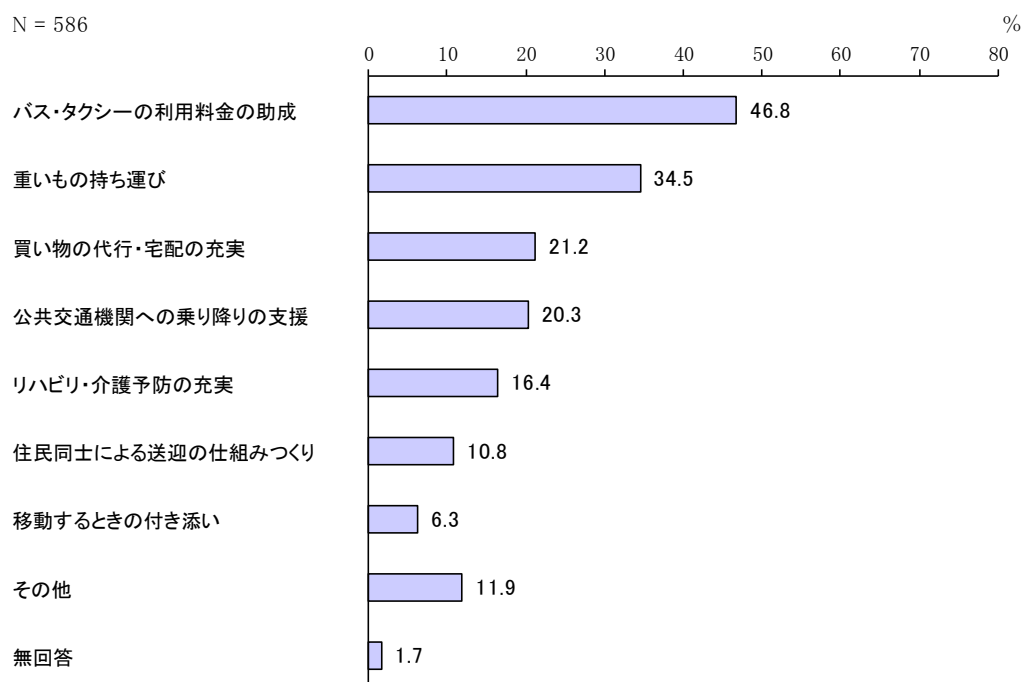
【不便を感じたことの有無】

「ある」の割合が 26.9%、「ない」の割合が 70.6%となっています。



【必要な支援】

「バス・タクシーの利用料金の助成」の割合が 46.8%と最も高く、次いで「重いもの持ち運び」の割合が 34.5%、「買い物の代行・宅配の充実」の割合が 21.2%となっています。



問 17 あなたは、次に挙げるような福祉にかかわる制度や言葉の中で、どの程度知っていますか。【〇は各制度や言葉で1つだけ】

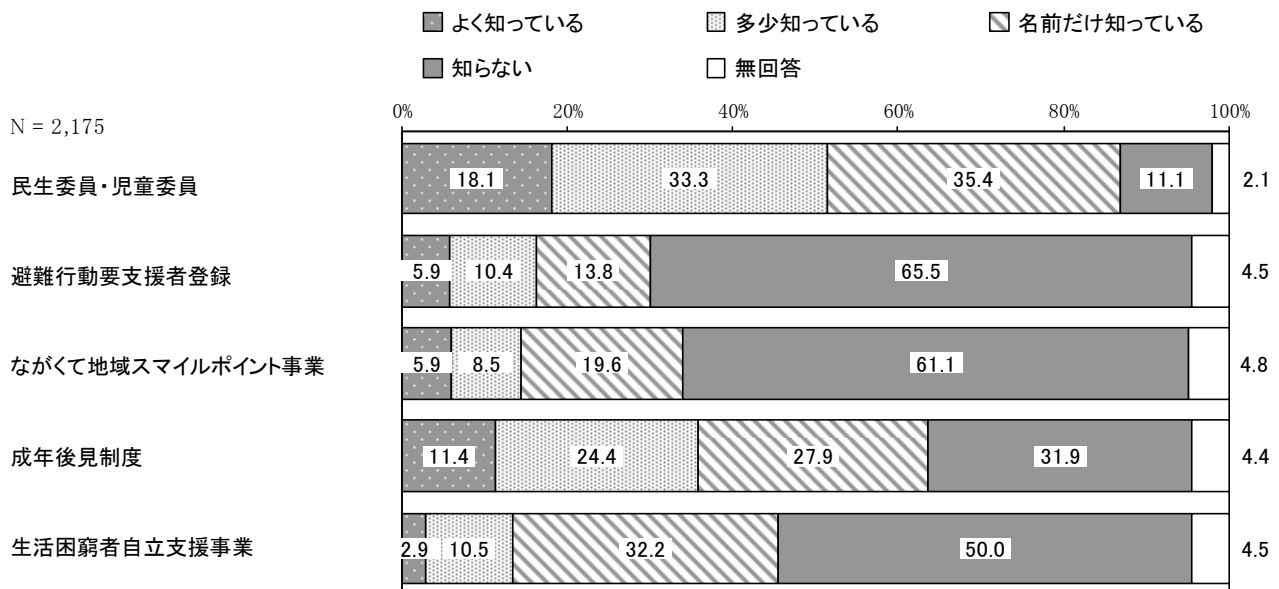
民生委員・児童委員で「よく知っている」「多少知っている」の割合が51.4%。

避難行動要支援者登録で「知らない」の割合が65.5%

ながくて地域スマイルポイント事業で「知らない」の割合が61.1%。

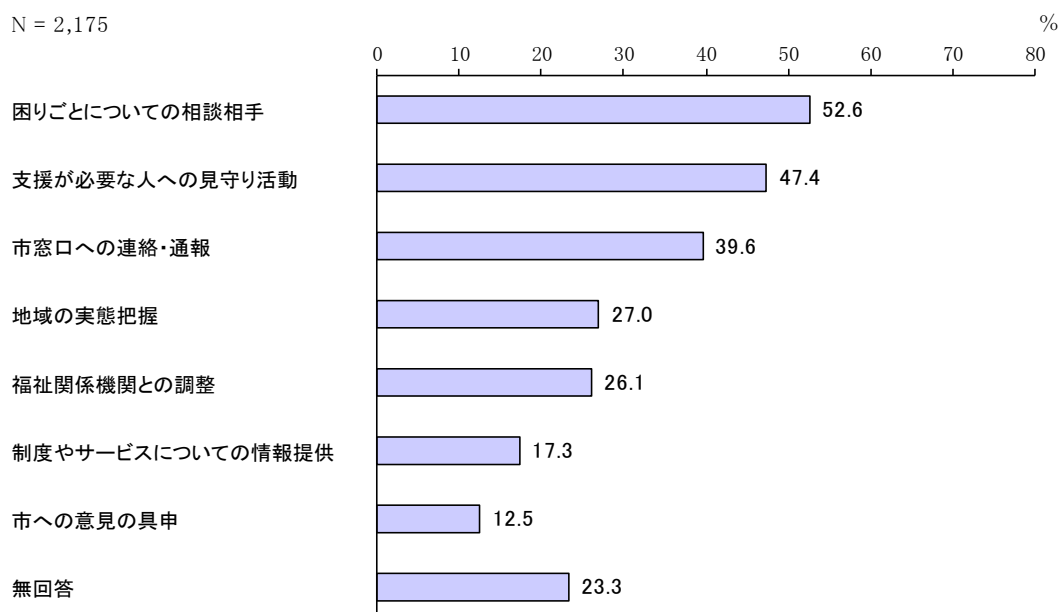
成年後見制度で「よく知っている」「多少知っている」の割合が35.8%。

生活困窮者自立支援制度で「知らない」の割合が50.0%。



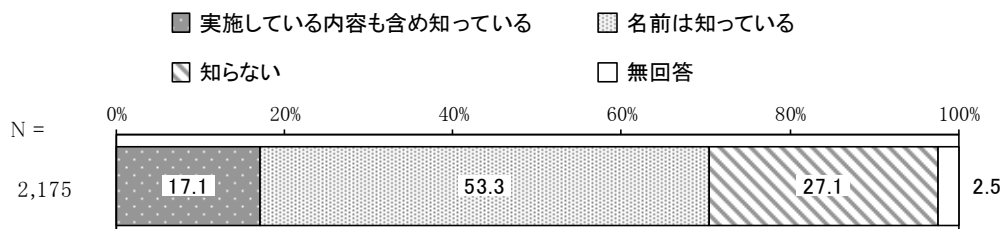
問 18 民生委員・児童委員が行っている次の活動について、知っていますか。【〇はあてはまるものすべて】

「困りごとについての相談相手」の割合が52.6%と最も高く、次いで「支援が必要な人への見守り活動」の割合が47.4%、「市窓口への連絡・通報」の割合が39.6%となっています。



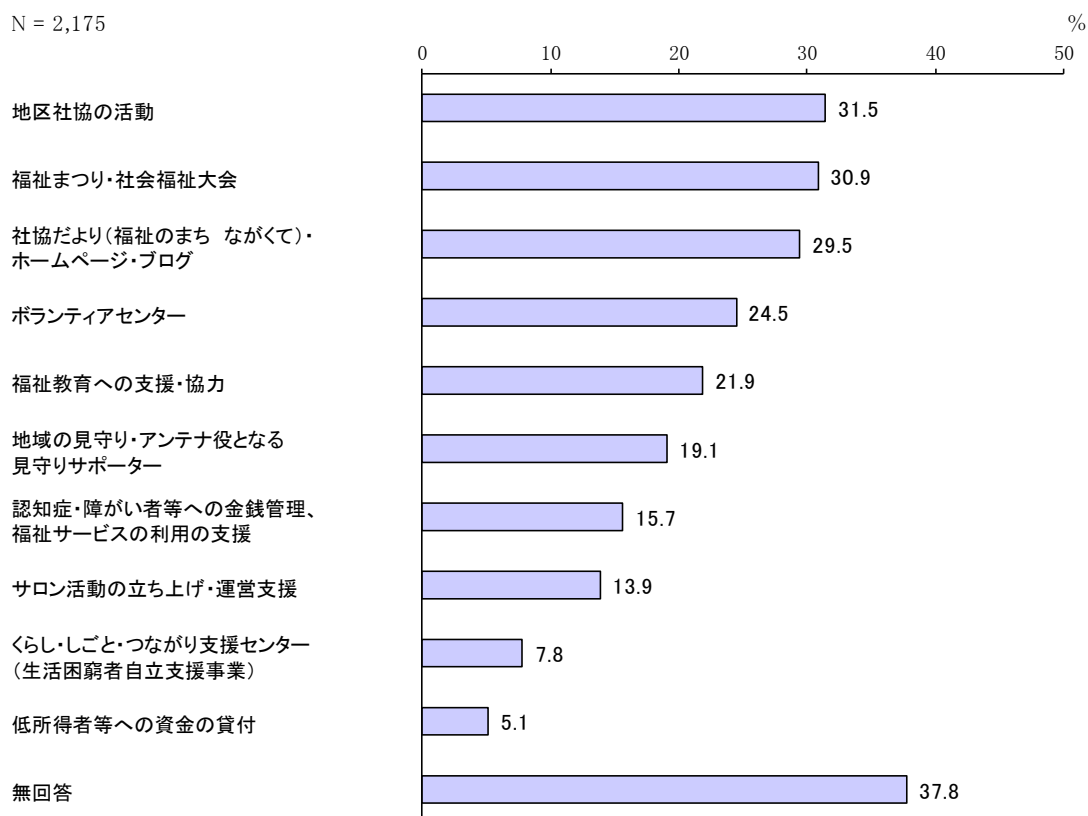
問 19 あなたは長久手市社会福祉協議会（社協）を知っていますか。
【〇はひとつだけ】

「名前は知っている」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 27.1%、「実施している内容も含め知っている」の割合が 17.1%となっています。



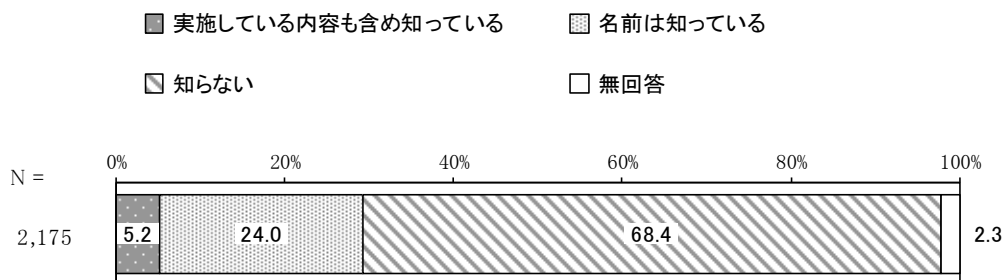
問 20 長久手市社会福祉協議会（社協）が行っている次の事業について、知っていますか。
【〇はあてはまるものすべて】

「地区社協の活動」の割合が 31.5%と最も高く、次いで「福祉まつり・社会福祉大会」の割合が 30.9%、「社協だより（福祉のまち ながくて）・ホームページ・ブログ」の割合が 29.5%となっています。



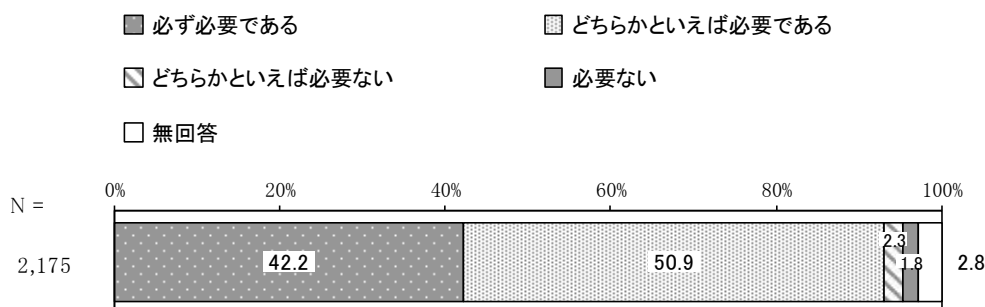
問 21 地域の身近な「福祉のなんでも相談員」として、小学校区ごとに配置されているCSW（コミュニティソーシャルワーカー）を知っていますか。【〇は1つだけ】

「知らない」の割合が68.4%と最も高く、次いで「名前は知っている」の割合が24.0%となっています。



問 22 災害時に自ら避難することが困難な方（要介護者、障がい者、難病患者、妊産婦等）を支援するために、近隣住民や見守りサポーターなどの地域の見守り役によって普段から見守り・声かけする仕組みが必要だと思いますか。【〇は1つだけ】

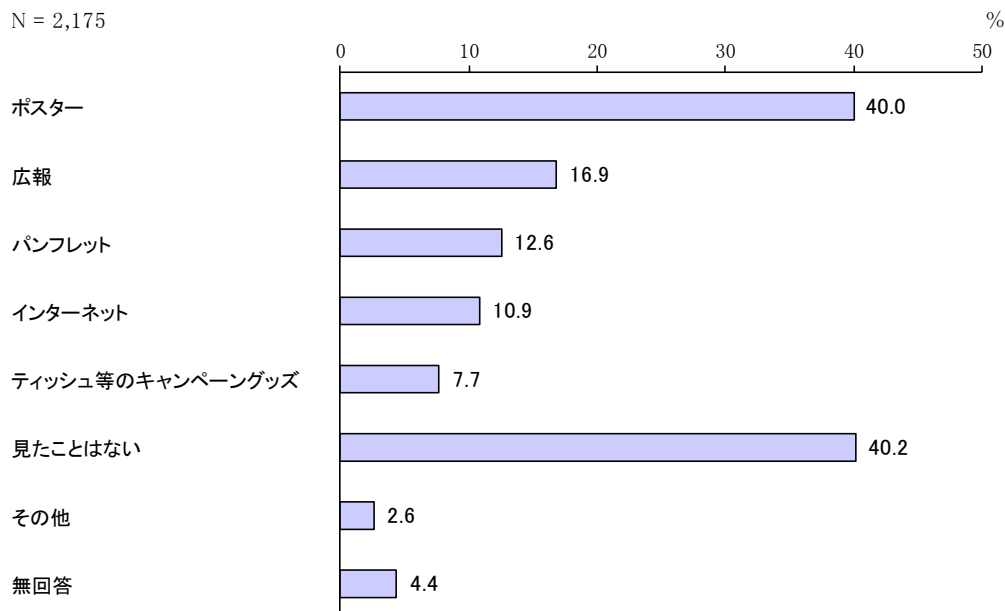
「必ず必要である」と「どちらかといえば必要である」をあわせた“必要である”の割合が93.1%、「どちらかといえば必要ない」と「必要ない」をあわせた“必要ない”の割合が4.1%となっています。



【 3 自殺対策 】

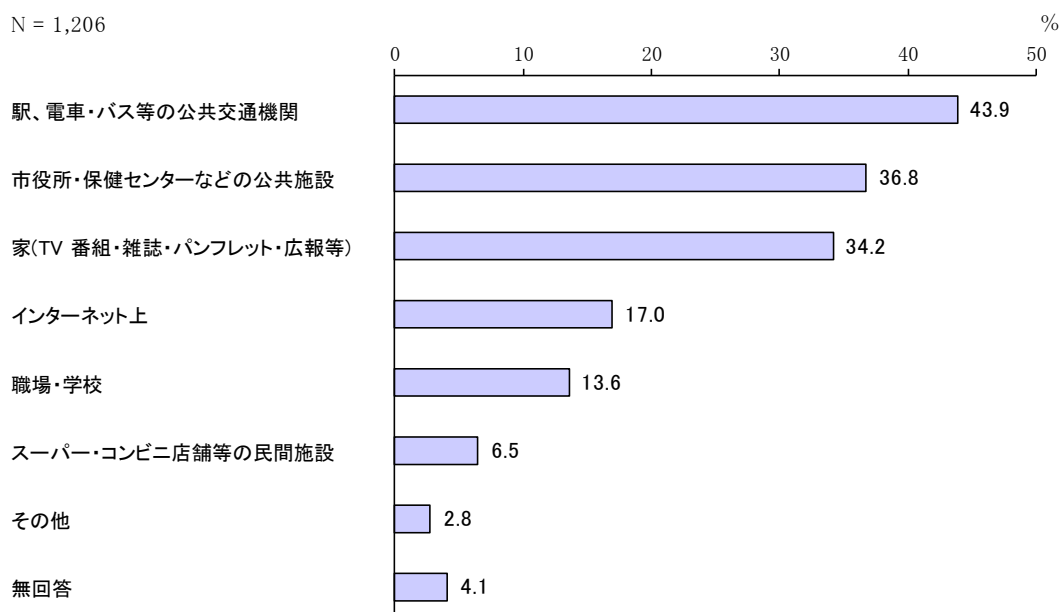
問 24 あなたはこれまで自殺対策に関する啓発物を見たことがありますか。
【○はあてはまるものすべて】

「見たことはない」の割合が40.2%と最も高く、次いで「ポスター」の割合が40.0%、「広報」の割合が16.9%となっています。



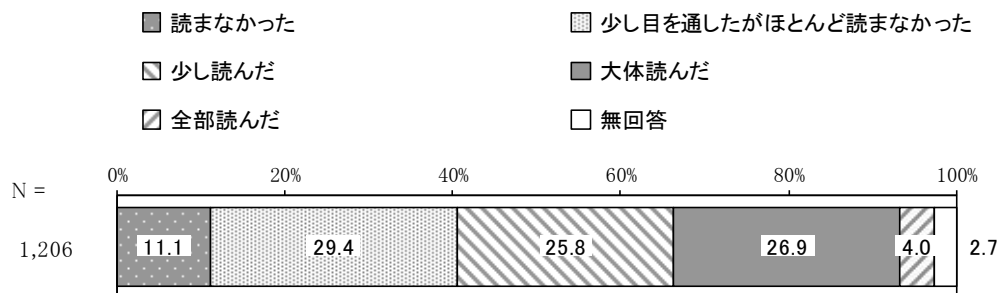
問 25 前の質問（問24）で「見たことはない」以外に○を付けた方に質問です。
その自殺対策に関する啓発物は、どこで見ましたか。【○はあてはまるものすべて】

「駅、電車・バス等の公共交通機関」の割合が43.9%と最も高く、次いで「市役所・保健センターなどの公共施設」の割合が36.8%、「家(TV番組・雑誌・パンフレット・広報等)」の割合が34.2%となっています。



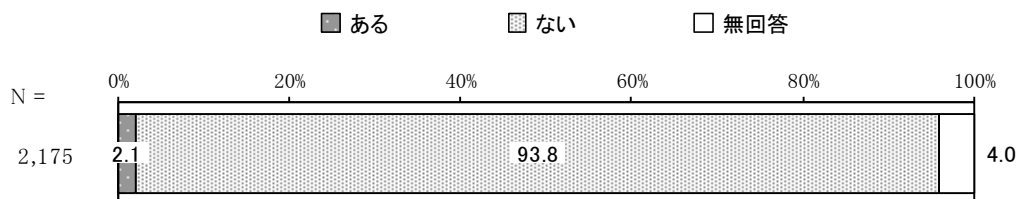
問 26 自殺対策に関する啓発物を見たとき、あなたはどうしましたか。【〇は1つだけ】

「少し読んだ」「大体読んだ」と「全部読んだ」をあわせた“読んだ”の割合が56.7%、「読まなかった」と「少し目を通したがほとんど読まなかった」をあわせた“読まなかった”の割合が40.5%となっています。



問 27 自殺対策に関する講演会や講習会に参加したことがありますか。【〇は1つだけ】

「ある」の割合が2.1%、「ない」の割合が93.8%となっています。



問 28 自殺対策に関するPR 活動（啓発物や講演会など）についてどのように思いますか。【〇は1つだけ】

「必要」と「どちらかといえば必要」をあわせた“必要”の割合が78.2%、「どちらかといえば不要」と「不要」をあわせた“不要”の割合が15.4%となっています。

